

オーエス！ オーエス！ パワー全開

特集
P.2
29年度一般会計決算認定
90 億1899万円

議会の
目線 4つの
インフラに注目
P.4

平成29年度決算
ただ
議員が質した
232のこと
P.6



No.89
古
9月定例会

ト
ト
ト

中
2018
秋 号

埼玉県小川町議会



わたしのひとコト「だから小川が好き」

P.17

伊藤春野さん
子供たちと一緒に、小川町の四季を楽しんでいます。

田中珠美さん
小川町のよいところをたくさんの方に知っていただきたい。

一般質問に 7人が登壇

議員のつぶやきにも注目

表紙に使用している画像は、「漉きこみ紙」です。「漉きこみ紙」は季節の花びらなどを漉き舟に入れて、一緒に漉きこみ、模様のある紙に仕上げたものです。

各ページ下にも
町のみんなから
ひとコト！



未来への投資、

地方創生がもたらすものは、何だろう。人口減少へと進んでいる日本。これから、知恵を出やすい町、町を誇りに思ったり、愛せる町をつくっていかなければいけない。平成29年度は議会が質したもの、注目するべきものを取り上げていきます。

評価

- ① 町税の徴収率向上 (89.0%→91.8%)
- ② 地方創生拠点整備交付金（2事業） (1億346万円 (29年度執行))
- ③ 霜里学校拠点整備 (地域のPR拠点として活性化に期待)
- ④ 防災地域支援課の設置 (自主防災組織率の向上 64.3%→73.4% (世帯数))
- ⑤ 小川野菜プロモーションの展開 (OGAWA'N (オガワ) 認証41事業者)
- ⑥ 七夕まつりの成功 (17万5000人の来場)
- ⑦ デマンドタクシー導入準備 (登録者数3695人、平成30年3月31日)
- ⑧ 地域福祉委員を増員 (30地区で100人となった。区長、民生・児童委員を補助するなど活躍中)
- ⑨ 町立小中学校のトイレ洋式に改修 (子ども議会の提案が叶った。町内全校に設置)
- ⑩ 教育相談室・広域適応教室 (職員を増やして、きめ細やかな対応)
- ⑪ 健康マイレージの導入 (歩いて健康。県の事業に参画するとともに、独自のポイントを付与し、記念品を用意した)



4月14日に開催された「ちよこたび埼玉酒蔵めぐりin小川町」。2018ミス日本酒埼玉代表武田紗和子さんを迎える、酒蔵めぐりのオリジナルマーク入りの記念電車が運行されました。

今必要なもの

し合い単なる人口の取り合いになるような地方創生であつてはならないと考える。住み決算は、町の将来の方向性を垣間見れる事業内容であったのではないだろうか。ここで

* 入歳入 出歳出 ※(○○→○○)は前年度との比較です

課題

- ① 特別土地保有税の不納欠損処理 (1億4439万円 (40.6%増))
- ② 臨時財政対策債の増 (4億6900万円 (2.5%増))
- ③ 行政バスの有効活用 (利用規定の再考)
- ④ 町道228号線が未開通
- ⑤ 環状1号線が未完成
- ⑥ マイナンバーカードの発行状況 (町民の12%にとどまっている。促進には、機能の充実や独自の特典などが必要か)
- ⑦ リリック大ホールの老朽化 (管理棟のみの改修計画となり、保留となつた大ホールの今後が心配される)



町立保育園では保育士確保も厳しく、平成29年度から民間保育移行庁内検討委員会を設置しました。

監査委員の意見

代表監査 田端文夫



平成29年度一般会計の歳入歳出差引額は、2億4906万円となりました。経常収支比率（※財政構造の硬直度を示す指標のひとつ）は、90.6%で、平成28年度県内町村平均88.6%を上回っており、財政の硬直化が進んでいると言えます。これは、恒常的な財源不足による影響で、今後の改善に向けて

新たな企業誘致の推進、町税や保険料などの徴収率の向上、不納欠損額・収入未済額の削減に努め、一層の歳入確保に取り組むことが求められます。また、歳出面では、ハード面で施設の老朽化への対応が急務であるため、将来性や費用対効果を見極めた修繕計画を緻密に立てる必要があります。一方、ソフト面では、社会保障費の抑制につながる施策を行なうとともに行政サービスに対するコストを明確化することで、人口減による歳入減を公共サービスの質や量に転嫁しない工夫が求められます。このように、厳しい財政運営が続く認識を持ち、この状況下でも町民福祉の向上に向けた効率的な行政システムの構築を期待します。（決算審査意見書より）

特集 議会の 目線

町のイン フラに



平成28年に策定された第5次総合振興計画では、10年後の小川町の姿を見据えたまちづくりを目標として基盤の充実を図ると記されています。さらに実施計画では、これらの基本計画を実施するため財政状況を考慮していく」とされています。計画に無理はなかったのか? 計画は順調に進んでいるのか? 今回の特集で議員の目線も記し、まとめてみました。

います。その基本計画第3章では、道路や交通を整備し都市化した3か年の具体的な事業内容を示したもので、「毎年見直す」は、数ある分野の中で「道路・交通」をクローズアップ!

第5次総合振興計画の基本目標

- ①人が輝くまち <参加と協働の推進>
- ②豊かな心を育むまち <教養・文化の振興>
- ③安全で住みよいまち<都市基盤の充実>
- ④快適な環境のまち <生活環境の整備>
- ⑤健康で安心して住めるまち <保健・医療・福祉の充実>
- ⑥活力ある産業のまち <産業の振興>
- ⑦自立した経営のまち <計画の推進>



計画どおりの工事完了を

AQ 橋脚補強工事の見通しは。
平成36年度完了予定で総工事費は7億3300万円です。平成30年度の工事費は2億8600万円で、進捗率は工事全体の40%です。

中央陸橋工事

橋りょうの整備



チェック、ダブルチェック
こまめな点検を

AQ 保険点検は。
道路法で義務づけられている定期点検に基づき、5年に一度点検を行っています。

AQ 災害時における緊急輸送路に指定されている道路にかかる橋、線路や道路等で集落が孤立化する橋、崩落等で集落が孤立化する橋、等を考慮し修繕計画が立てられます。

橋りょう



業者との連携を密に、
持続可能な運営を

AQ 課題は。
①時間外の問い合わせがある
②電話がつながらないとのクレーム
が増えた ③需要と供給のバランス
がとれない(運転手不足か) ④利
用者増により、お客様の待ち時間に
不便を与えてしまっている ⑤タク
シー業務とデマンド業務の両立が難
しい ⑥利用年齢・時間・金額など
の再検討を要望したい、などがあり
ました。

AQ 登録者数は。
平成30年3月末、3695人の登録がありました。

タクシー事業者に聞く デマンドタクシー

公共交通空白地域の解消



県だけを頼らずに
町も積極的な行動を

AQ フラット化が進んでいるが。
平成29年度は、停車場線入り口交差点から相生町交差点までの約120メートルが施工されました。平成30年度は、相生町交差点から晴雲酒造間の310メートルを計画しています。

歩道

駅北口開設への道のり

駅周辺の整備

南口と北口(共に仮称)を結ぶ駅構内の基本設計
(平成28年度完了)

周辺道路の測量
(平成30年度完了予定)

駅北口開設への道のり

駅周辺の整備

幹線道路

道路の整備

AQ 環状1号線の進捗状況は。
平成30年3月時点での用地買収率が96%、工事進捗率は52%です。
県道本田・小川線の開通は。

AQ 県は、県道熊谷・小川線交差点から、北側の町道228号線交差点までの区間を先行して開通させる考えです。

町立保育園の現状

Q 保育士不足が気になる。また、施設とも老朽化も見られるが。

A 平成29年度から民間保育移行庁内検討委員会を立ち上げ、研究しています。今後の国の動向等にも対応し、よりよいものにしていきます。

ユネスコ登録から3年余り和紙製品の新展開を

AQ 待望の新商品はできたのか。細川紙技術者協会がバスポートケースやカードケースを、小川和紙工業協同組合はコースターを、ともに和紙製で作製しました。イベント等でテスト販売をする予定です。

AQ 第5回埼玉酒蔵めぐりin小川町

AQ 池袋駅にて出発式、酒蔵めぐりのヘッドマークをつけた車両を運行するなど、東武鉄道に全面的な協力を得ることができました。酒蔵めぐりを終えた来

田者を、どのように田内のお店に滞在していただくかが課題です。

A 耕作放棄地改善のため、小川町地域耕作放棄地対策協議会と農業委員会が調査を行なっています。八和田地区で約600坪、大河地区で約750坪が農地として再生が図られました。

Q 農地として利用がされている土地への対策は。

A 耕作放棄地改善のため、小川町地域耕作放棄地対策協議会と農業委員会が調査を行なっています。八和田地区で約600坪、大河地区で約750坪が農地として再生が図られました。



和紙が持つ手づくり感満載の新商品が完成しました。地酒とともに、当町を訪れた記念やお土産に、また贈り物として活用されたらステキですね。

平成29年度 特別会計決算に関する質疑

国民健康保険

Q 安心安全に資するため、どのような調査がされているのか。

A 比企地区の市町村を流れる河川の上流から下流まで、毎年1回水質と底生生物の調査を実施します。平成29年度は調査した3河川とも基準値未満であり、異常はありませんでした。

介護保険

Q 小川町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の第6期の最終年度となる平成29年度の目標達成と第7期に向けた総括は。

A 地域包括ケアシステムの構築・介護連携推進体制の構築・在宅医療・認知症施策の構築・在宅医療費が、県内63市町村中59番

であります。供用が開始された地区にて説明会を実施し、接続を促しています。

下水道事業

Q 接続率向上に改善が見られないが、その理由と対策は。

A 「建物を住まいとして相続しない」「合併処理浄化槽を設備している」など理由はさまざまのようです。供用が開始されました。今後は眼底検診の推進をしていきます。

Q 保険給付費不用額が多いが、特定健診と眼底検診の両方が少なく、眼底検診だけ未受診となるケースがあり不用額が出ました。今後は眼底検診の推進をしていきます。

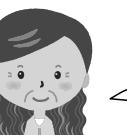
スタンドつき町民野球場の実現を自分が生きている間に見たい。



(M・Mさん・68歳)

解説 長沢 裕さん1

福島県生まれの24才 フリーアナウンサー、タレントとして活躍中。ZIP! (日本テレビ)、趣味の園芸 (NHK) 等に出演。



若者が就職したくなる魅力的な職場が小川町にあるといいね。

(K・Oさん・57歳)

Mini Column
オガワマチのことギカイのこと
一緒に見よう、考え方
「小川町に必要なもの」

平成30年度補正予算に関する質疑

一時的保育の拡充

Q 私立小川保育園で可能になつた理由は。

A 保護者からの要望があり、相談を重ね実施となりました。

実施保育園と同様に1時間30分、1日1500円、月・水・金の8時半～16時で、1日3人の対応となります。

和紙すき体験

Q 極の購入費（43万2000円）は、和紙体験学習センターで利用者何人分となるのか。

A 700人分を想定しています。購入先は小川和紙工業組合からで町内産のものとなります。

不育症制度

A 詳細と周知方法は。

平成30年4月から実施で県が呼びかけており、県全体で50人を見込んでいます。当町でも制度化し悩みを抱える方への

Q 町民会館と公民館の複合化になると、安価な公民館の利用が増え、町民会館の利用が減るのです。

A 公民館は社会教育法のもとでの使用となり、稼働率を上げることが目的にもなっていますが、宴会など飲食が伴うものはできないので、利便性が向上するものと考えます。

旧下里分校の無償貸付

Q 契約は平成31年3月までだが、なぜ今なのか。

次年度の事業計画をしつか

旧下里分校の用務員棟は、地方創生拠点整備交付金を活用し改修され、4月から地域のPR拠点としてスタートし期待がもたれています。一方、今後は老朽化が進んでいる校舎棟修理の資金確保も大切になってきます。



一助を目指しました。大変アリケートな内容なので、必要な方に直接伝わるように産婦人科内や役場にポスターを掲示します。

図書館開館日数

Q 6月は5日間のみだったが、管理運営費の減額は。

A 6月4日～28日の間、コンピューターシステムの入れ替えを実施していました。その間、職員は蔵書の点検を実施していましたので、通常の業務日数と変わりなく減額はしていません。

臨時財政対策債

Q 本来なら地方交付税として交付されるべき金額の一部について地方が借金（臨時財政対策債の発行）することによって補てんし、その返すべき相当額を後年度の普通交付税の基準財政需要額²に算入するという仕組みだが、町はどのような考え方もと増額をしたのか。

A 每年基準財政需要額に算入される元利償還金の額については、国が定めた全国一律の償還モードに基づいて算定されることになっています。そこで、発用になると制限される場合があるのではないか。

公民館条例

Q 町民会館は今まで活動ができていた利用者が、公民館と併用になると制限される場合があるのではないか。

に伴い増額をしました。臨時財政対策債は、地方が発行しなければならないものではありませんが、貴重な財源として財源不足を補うという観点で借り入れをしています。

条例その他に関する質疑

A 1・2階が相互に利用でき、現在の利用者に従来どおり使用していただけるように仕組みを規則の中で整備して、支援を来すことがないようにしていきます。



財政負担を考え大ホールを切り離しての管理棟改修工事。利用者が安心して使える施設管理が最重要です。

✓解説 基準財政需要額²

各地方公共団体が一定の水準で、毎年必要となる財源見直し経費を推計しもの。

議員提出議案

ゴルフ場利用税の堅持を求める意見書

このゴルフ場利用税は、ゴルフ場利用者から徴収され、県に3割、所在自治体に7割が交付されます。平成29年度の実績は4500万円でした。貴重な財源であるため、現行の維持を求めて意見書を提出しました。

賛否が分かれた議案・請願をお知らせします

議員名	審議結果	笠原武	井口亮一	笠原規弘	田中照子	山口勝士	高橋さゆり	松葉幸雄	金子美登	島崎隆夫	戸口勝	大戸久一	柴崎幹勝	宮澤成美	根岸修三	松本修三
議案名・請願名																
小川町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成29年度国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成29年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
老朽化した東海第二原発の運転期間を延長させないことを国に求める請願	不採択	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	—

※ (○は賛成、×は反対、欠は欠席、討は討論) 議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します

一般質問とは、町の施策等について、議員が町に考え方や意見を求めるものです。議会だよりでは、このやりとりを要約して報告します。

地場産の野菜をもつと
買って、もつと食べて、
宣伝しましょう。

戸口 勝が問う



農業の稼ぎと移住率の向上を

当町の農業施策現状を聞く。

A 環境農林課長 生かし、他地域との価格競争ではなく、独自性を打ち出した内容をオガワンドロジエクトとして展開し、農業政策の目玉として進めます。

A 学校給食へのオガワンドロジエクトとして展開し、農業政策の目玉として進めます。

A 環境農林課長 平成28年度は有機野菜の使用を行いました。ただし、オガワンドロジエクトとして発注は行なっていません。

9市町村の焼却炉建設は一考を

現在、埼玉中部資源循環組合（9市町村）で大焼却炉建設が計画されているが、当町としてはどんな協議がされたのか。

A 環境農林課長 小川地区衛生組合では、焼却施設の老朽化で10年以上前に協議されました。その結果、組合管内では建設候補地が見つからず、構成5町村では費用面の負担等総合的に考えて、困難との判断に至ったと聞いています。

Q 「ごみ処理が広域になると、「ごみ運搬に費用がかかり過ぎるだけでなく、

地域住民の理解を得ていなければいけない」と約束した場所に建設していくの。

笠原 武が問う



町民に受け入れられないのでは

和解での建設しない約束を無視する行政姿勢は人権軽視ではないか。

A 環境農林課長 34人の債権者と中部ものであり、中部資源循環組合は別団体ため、法的効力は及ばないと考えています。環境保全組合の間に和解が成立した付帯施設の内容や建設費は、作業部会で話し合われ、合意に至ったのか。

A 環境農林課長 付帯施設の協議は3回行なっています。その中で施設の内 容・規模・費用負担など議論されました

A 環境農林課長 和解では建設しない約束を無視する行政姿勢は人権軽視ではないか。

和解では建設しないと約束した場所に建設していくの。

井口亮一が問う



OGAWA'N Project

当町の農業施策現状を聞く。

A 環境農林課長 当町の地理的特性を生かし、他地域との価格競争ではなく、独自性を打ち出した内容をオガワンドロジエクトとして展開し、農業政策の目玉として進めます。

A 環境農林課長 平成28年度は有機野菜の使用を行いました。ただし、オガワンドロジエクトとして発注は行なっていません。

現在、埼玉中部資源循環組合（9市町村）で大焼却炉建設が計画されているが、当町としてはどんな協議がされたのか。

A 環境農林課長 小川地区衛生組合では、焼却施設の老朽化で10年以上前に協議されました。その結果、組合管内では建設候補地が見つからず、構成5町村では費用面の負担等総合的に考えて、困難との判断に至ったと聞いています。

Q 「ごみ処理が広域になると、「ごみ運搬に費用がかかり過ぎるだけでなく、

地域住民の理解を得ていなければいけない」と約束した場所に建設していくの。

戸口 勝が問う



当町の農業施策現状を聞く。

A 環境農林課長 生かし、他地域との価格競争ではなく、独自性を打ち出した内容をオガワンドロジエクトとして展開し、農業政策の目玉として進めます。

A 環境農林課長 平成28年度は有機野菜の使用を行いました。ただし、オガワンドロジエクトとして発注は行なっていません。

現在、埼玉中部資源循環組合（9市町村）で大焼却炉建設が計画されているが、当町としてはどんな協議がされたのか。

A 環境農林課長 小川地区衛生組合では、焼却施設の老朽化で10年以上前に協議されました。その結果、組合管内では建設候補地が見つからず、構成5町村では費用面の負担等総合的に考えて、困難との判断に至ったと聞いています。

Q 「ごみ処理が広域になると、「ごみ運搬に費用がかかり過ぎるだけでなく、

地域住民の理解を得ていなければいけない」と約束した場所に建設していくの。

笠原 武が問う



当町の農業施策現状を聞く。

A 環境農林課長 生かし、他地域との価格競争ではなく、独自性を打ち出した内容をオガワンドロジエクトとして展開し、農業政策の目玉として進めます。

A 環境農林課長 平成28年度は有機野菜の使用を行いました。ただし、オガワンドロジエクトとして発注は行なっていません。

現在、埼玉中部資源循環組合（9市町村）で大焼却炉建設が計画されているが、当町としてはどんな協議がされたのか。

A 環境農林課長 小川地区衛生組合では、焼却施設の老朽化で10年以上前に協議されました。その結果、組合管内では建設候補地が見つからず、構成5町村では費用面の負担等総合的に考えて、困難との判断に至ったと聞いています。

Q 「ごみ処理が広域になると、「ごみ運搬に費用がかかり過ぎるだけでなく、

地域住民の理解を得ていなければいけない」と約束した場所に建設していくの。

戸口亮一が問う



当町の農業施策現状を聞く。

A 環境農林課長 生かし、他地域との価格競争ではなく、独自性を打ち出した内容をオガワンドロジエクトとして展開し、農業政策の目玉として進めます。

A 環境農林課長 平成28年度は有機野菜の使用を行いました。ただし、オガワンドロジエクトとして発注は行なっていません。

現在、埼玉中部資源循環組合（9市町村）で大焼却炉建設が計画されているが、当町としてはどんな協議がされたのか。

A 環境農林課長 小川地区衛生組合では、焼却施設の老朽化で10年以上前に協議されました。その結果、組合管内では建設候補地が見つからず、構成5町村では費用面の負担等総合的に考えて、困難との判断に至ったと聞いています。

Q 「ごみ処理が広域になると、「ごみ運搬に費用がかかり過ぎるだけでなく、

地域住民の理解を得ていなければいけない」と約束した場所に建設していくの。

戸口 勝が問う



当町の農業施策現状を聞く。

A 環境農林課長 生かし、他地域との価格競争ではなく、独自性を打ち出した内容をオガワンドロジエクトとして展開し、農業政策の目玉として進めます。

A 環境農林課長 平成28年度は有機野菜の使用を行いました。ただし、オガワンドロジエクトとして発注は行なっていません。

現在、埼玉中部資源循環組合（9市町村）で大焼却炉建設が計画されているが、当町としてはどんな協議がされたのか。

A 環境農林課長 小川地区衛生組合では、焼却施設の老朽化で10年以上前に協議されました。その結果、組合管内では建設候補地が見つからず、構成5町村では費用面の負担等総合的に考えて、困難との判断に至ったと聞いています。

Q 「ごみ処理が広域になると、「ごみ運搬に費用がかかり過ぎるだけでなく、

地域住民の理解を得ていなければいけない」と約束した場所に建設していくの。

戸口亮一が問う



当町の農業施策現状を聞く。

A 環境農林課長 生かし、他地域との価格競争ではなく、独自性を打ち出した内容をオガワンドロジエクトとして展開し、農業政策の目玉として進めます。

A 環境農林課長 平成28年度は有機野菜の使用を行いました。ただし、オガワンドロジエクトとして発注は行なっていません。

現在、埼玉中部資源循環組合（9市町村）で大焼却炉建設が計画されているが、当町としてはどんな協議がされたのか。

A 環境農林課長 小川地区衛生組合では、焼却施設の老朽化で10年以上前に協議されました。その結果、組合管内では建設候補地が見つからず、構成5町村では費用面の負担等総合的に考えて、困難との判断に至ったと聞いています。

Q 「ごみ処理が広域になると、「ごみ運搬に費用がかかり過ぎるだけでなく、

地域住民の理解を得ていなければいけない」と約束した場所に建設していくの。

戸口 勝が問う



当町の農業施策現状を聞く。

A 環境農林課長 生かし、他地域との価格競争ではなく、独自性を打ち出した内容をオガワンドロジエクトとして展開し、農業政策の目玉として進めます。

A 環境農林課長 平成28年度は有機野菜の使用を行いました。ただし、オガワンドロジエクトとして発注は行なっていません。

現在、埼玉中部資源循環組合（9市町村）で大焼却炉建設が計画されているが、当町としてはどんな協議がされたのか。

A 環境農林課長 小川地区衛生組合では、焼却施設の老朽化で10年以上前に協議されました。その結果、組合管内では建設候補地が見つからず、構成5町村では費用面の負担等総合的に考えて、困難との判断に至ったと聞いています。

Q 「ごみ処理が広域になると、「ごみ運搬に費用がかかり過ぎるだけでなく、

地域住民の理解を得ていなければいけない」と約束した場所に建設していくの。

戸口亮一が問う



当町の農業施策現状を聞く。

A 環境農林課長 生かし、他地域との価格競争ではなく、独自性を打ち出した内容をオガワンドロジエクトとして展開し、農業政策の目玉として進めます。

A 環境農林課長 平成28年度は有機野菜の使用を行いました。ただし、オガワンドロジエクトとして発注は行なっていません。

現在、埼玉中部資源循環組合（9市町村）で大焼却炉建設が計画されているが、当町としてはどんな協議がされたのか。

A 環境農林課長 小川地区衛生組合では、焼却施設の老朽化で10年以上前に協議されました。その結果、組合管内では建設候補地が見つからず、構成5町村では費用面の負担等総合的に考えて、困難との判断に至ったと聞いています。

Q 「ごみ処理が広域になると、「ごみ運搬に費用がかかり過ぎるだけでなく、

地域住民の理解を得ていなければいけない」と約束した場所に建設していくの。

戸口 勝が問う



当町の農業施策現状を聞く。

A 環境農林課長 生かし、他地域との価格競争ではなく、独自性を打ち出した内容をオガワンドロジエクトとして展開し、農業政策の目玉として進めます。

A 環境農林課長 平成28年度は有機野菜の使用を行いました。ただし、オガワンドロジエクトとして発注は行なっていません。

現在、埼玉中部資源循環組合（9市町村）で大焼却炉建設が計画されているが、当町としてはどんな協議がされたのか。

A 環境農林課長 小川地区衛生組合では、焼却施設の老朽化で10年以上前に協議されました。その結果、組合管内では建設候補地が見つからず、構成5町村では費用面の負担等総合的に考えて、困難との判断に至ったと聞いています。

Q 「ごみ処理が広域になると、「ごみ運搬に費用がかかり過ぎるだけでなく、

地域住民の理解を得ていなければいけない」と約束した場所に建設していくの。

戸口 勝が問う



当町の農業施策現状を聞く。

A 環境農林課長 生かし、他地域との価格競争ではなく、独自性を打ち出した内容をオガワンドロジエクトとして展開し、農業政策の目玉として進めます。

A 環境農林課長 平成28年度は有機野菜の使用を行いました。ただし、オガワンドロジエクトとして発注は行なっていません。

現在、埼玉中部資源循環組合（9市町村）で大焼却炉建設が計画されているが、当町としてはどんな協議がされたのか。

A 環境農林課長 小川地区衛生組合では、焼却施設の老朽化で10年以上前に協議されました。その結果、組合管内では建設候補地が見つからず、構成5町村では費用面の負担等総合的に考えて、困難との判断に至ったと聞いています。

Q 「ごみ処理が広域になると、「ごみ運搬に費用がかかり過ぎるだけでなく、

地域住民の理解を得ていなければいけない」と約束した場所に建設していくの。

戸口 勝が問う



当町の農業施策現状を聞く。



「小川町の学校給食はおいしい」と評判で児童も楽しみな時間です。



燃えるごみの中には、資源となる雑紙が混入しています。



和紙体験学習センターを見学しているツアー客。

A 学校教育課長 平成29年度には、財源確保緊急対策本部会議において「学校給食の全面委託」という視点で協議されました。方向性の検討を行なっています。

Q 学校給食センターは、学校給食の方検討委員会での方向性が出ています。改めて食堂のあり方について方向性を検討します。

A 長生き支援課長 業者の申請には至つていません。生きがいホール以外で、館内への飲食を認めての対応をしています。改めて食堂のあり方について方向性を検討します。

Q パトリア内の食堂は4月から閉鎖になりましたが、今後の展開は。

限は申し上げられませんが、大改修も視野に入れて進めていきます。

A **Q** 生涯学習課長 昭和57年開館以来機械もほぼ当時の状態です。部品等もメーカーの製造もされていません。改修費用や利用状況等を総合的に勘案し、慎重に方向性を定めていきたいと考えています。

A **Q** 町長 稼働率なども重要ですが、やはり「町の文化の拠点」として、期

リックおがわの管理棟は、改修工事中だが、大ホールは空調の故障が7月にもあった。早急に判断をすべきでは。改修費用もほぼ当時の状態です。部品等もメーカーの製造もされていません。改修費用や利用状況等を総合的に勘案し、慎重に方向性を定めていきたいと考えています。

A **Q** 私は5年前にも同様的一般質問をしているが、町長が決断すべきでは。

たかはし
高橋さゆりが問う

ない袖はぶれない
なんて言わないでね。



Q 雑紙の出し方を明記した「ごみの減量化」協力ください」というリーフレットを全戸配布したが、その成果は。

A **Q** 環境農林課長 可燃ごみは7月末まで昨年度と比較すると、町民1人1日当たりの排出量は29年度が45.1グラム、本年度が46.7グラムと増えています。

また、雑紙が資源化に回る古紙類の回収についても、同期間におきまして昨年度が1

41・17トン、今年度が128・51トンと約12・7トンと減少し、成果は表れています。さらに分かりやすく啓発していきます。



たなかてるこ
田中照子が問う

可燃ごみの排出量はごみ分別収集開始以来約2.5倍に。



やまぐちかつし
山口勝士が問う

まずは観光でお金稼ごう!



Q 観光は「小川町活性化の鍵」という基本的な考えは、町行政に根づき展開しているのか。

A **Q** にぎわい創出課長 観光協会の活性化や観光の拠点など、資源を充実させ、観光商業の推進体制を構築する必要があると感じています。「観光振興計画」を策定するに当たり、各種事業者や団体、住民や来訪者等に意見を聞きながら検討し、より具体的な計画づくりを進めています。

5年たつてもほとんど変わらない、進まない計画だとしたらつくる意味

Q 5年たつてもほとんど変わらない、進まない計画だとしたらつくる意味

Q 観光は「小川町活性化の鍵」という基本的な考えは、町行政に根づき展開しているのか。

A **Q** にぎわい創出課長 観光協会の活性化や観光の拠点など、資源を充実させ、観光商業の推進体制を構築する必要があると感じています。「観光振興計画」を策定するに当たり、各種事業者や団体、住民や来訪者等に意見を聞きながら検討し、より具体的な計画づくりを進めています。

5年たつてもほとんど変わらない、進まない計画だとしたらつくる意味

Q 観光は「小川町活性化の鍵」という基本的な考えは、町行政に根づき展開しているのか。

防災力を高めるための努力を

島崎 隆夫が問う

しまさきたかお
天災は、忘れたこ
ろにやつてくる！
備えなくては！



人口規模や時代で変わるニーズに合わせて、施設を統廃合しなければ。

川町に嫁ぎ、10年を迎えました。3人の子供に恵まれ4世代8人家族のにぎやかな環境で生活しています。子供を幼いころから保育園に預けて仕事をしながらの子育てですが、主人の両親と祖母(90歳!)の全面的なサポートを受け、穏やかで感謝する日々を過ごしています。子育てで大切にしていることは、「季節感を味わう」ということです。春は下里の桜、夏は腰越で川遊び、秋は仙元山登り、冬は和紙マラソンなどなど。一緒に体験し、楽しむ中で成長を感じることができます。季節は秋、さわやかな風を感じながら、持久走の練習をすることがとても心地よく感じられます。10年後の私は、きっとこれらのこと「あのときは、忙しかったけれど幸せな時間だったな」としみじみ感じることでしょう。



家族の愛に
囲まれて

伊藤春野さん
Haruno Ito
(中高谷)

みんなの「小川町」

田中珠美さん
Tamami Tanaka
(仲町)

私は小川町で生まれ育ち、この町で生活しています。若いころは小川町のよさがわからず、何て不便なんだろうと思ったことがあります。しかし、地域の歴史や小川町から大成した方々の人生を知るうちに、この町の歴史を語る寺院や建物、そして虫の群生をはじめとした豊かな自然の中で協調して生活している自分に気づきました。今では少しずつですが地元の歴史と先人の人生を学び、よいところを発見する満ち足りた日々を送っています。これからは、私が知り得たことを若い方たちに伝えていきたいと考えています。また、私は地元で飲食店を経営しており、他県のお客様もたくさん見えますので、小川町のよいところを多くの方に知つていただくことに努力していくと考えています。

ひよこ
ひよこ

公共施設の管理計画は

Q 管理計画の進捗はどのような状況か。

A 以下の4施設管理について伺う。

- ①旧上野台中学校の利活用。②中央公民館の機能を図書館へ移行。③和紙体験学習センターの今後。④総合運動場施設維持。

A 政策推進課長ほか ①特別養護老人ホーム等の試案はできており、地域への説明も進捗に合わせて行なっています。②公民館機能のほとんどは、町民会館1階に移ります。図書館への移行は、決定したものはありません。③文化財としての活用も視野にさまざまな角度から総合的に検討し、利活用を決めていきます。④老朽化の実態を把握し、計画的に修繕を進めます。

ますので機会をつづっていきます。

Q 自然災害に対して、当町に合った防災力、知識を持つ必要があるのでは。たとえば災害に関する過去の記録等の情報は、職員間での共有はできているのか。また、町民に対して防災マップの配布にとどまらずに地域別の勉強会を開き、多くの町民に対応力を持つもらうことが必要だと思うが。

A 防災地域支援課長 職員間の共有は、必要ですので進めます。また、地域による危険の違いや情報を学ぶことにより発災時の対応力を持つことは、重要であります。

しまさきたかお
島崎 隆夫が問う

天災は、忘れたこ
ろにやつてくる！
備えなくては！

可燃ごみ処理

平成34年度末の稼働予定

埼玉中部資源循環組合議会

平成30年8月9日に第2回定例会が開催されました。個人情報保護条例の一部を改正する条例制定、平成30年度一般会計補正予算、平成29年度一般会計歳入歳出決算5億632万円の3議案を原案どおり認定・可決しました。当町の平成29年度負担額は4680万円でした。主な事業は施設整備基本設計策定委託料・環境影響評価業務委託料・施設整備基金積立金です。



一部事務組合議会 って何ですか？

複数の自治体が、行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置する組織のことを「一部事務組合」といいます。比企管内では、ごみ処理や消防・救急、火葬場の運営等を行なうために、3つの一部事務組合議会を設置しています。参加している自治体からはそれぞれ議員を選出し、定例会等を開催して審議していますので、その内容をお知らせします。

消防・救急・斎場の管理運営・介護・障害審査会

東松山斎場の建設が始まる

比企広域市町村圏組合議会

平成30年8月10日に第2回定例会が開催されました。平成29年度一般会計のほか各特別会計の決算など11議案を審議し、いずれも原案どおり認定・可決しました。全会計の総額は約30億円、そのうち当町の負担額は約5億円で、そのほとんどは消防特別会計(約4億7000万円)に支出したものです。なお、東松山斎場の建設工事が17億4500万円の予算で着工されました。

ごみ処理・し尿処理

計画に基づく改修工事が終了

小川地区衛生組合議会

平成30年8月24日に第2回定例会が開催されました。平成29年度一般会計歳入歳出決算、平成30年度補正予算の2議案を原案どおり認定・可決しました。し尿処理施設は、老朽化が進み施設の延命化を図るために、計画に基づき平成28年度から2ヵ年計画で基金5億3200万円を取り崩し、脱水設備等改良工事が終了しました。

Minicolumn
オガワマチのことギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「小川町に必要なもの」



観光客がきて、喜んで
もらえるメインとなる
モノと場所。

(E・Tさん・30代)



移住者と地元住民の
地域コミュニティ。

(Y・Sさん・68歳)

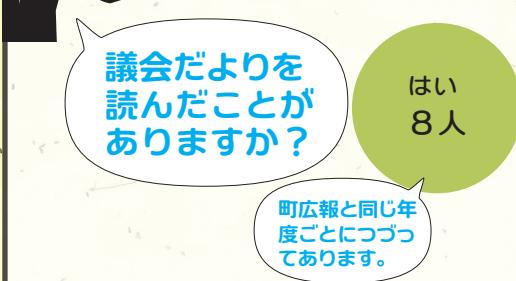


私が知っている範囲でも、もう
20軒お店が廃業しました。
お店を継ぐ人。

(M・Tさん・50代)

議員の聞く×つなぐ 町の声

茶道サークル編



この際、言わせて！

- ・公民館跡地は、官民連携でよい活用をしてください。
- ・企業を誘致して、若者の雇用と町財政を豊かにしてほしいです。
- ・「地震に強い町」としてもっとPRをしてください。
- ・私たちを含め、これから年を取りしていく人たちが安心して暮らせる町にしてほしい。
- ・商店街がもっと華やかになるように努力してください。
- ・リリックでの活動も視野に活動場所は未定ですが、商工祭等の町の行事で、日本の文化である茶道を楽しんでもらえるような取り組みをしたいです。

(原文のまま掲載しています)

ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました

茶道・華道など日本の伝統的な文化には「道」があります。今回は、中央公民館で平成元年から30年間「茶道」のお稽古をしてきた「茶道サークル」の8人の皆さんを取材しました。

今までで一番印象に残っていること

- 最初は、先生の指導を受け行なっていました。最初の10ヵ月間は生徒が多かったこともあり、歩き方と袱紗の扱い方でした。とても厳しかったです。
- 夏休みに行なっている子ども茶道教室です。お茶をいただくだけでなく、自分でお茶を点てたこと。「和菓子がおいしい」と、とても喜んでくれたこと。
- 商工祭と一緒に行なった文化祭で、町民の皆さんにお茶を楽しんでもらったこと。



傍聴からはじめよう!!

どなたでも傍聴できます（事前連絡は不要です）
役場3階にお越しください

次回定例会は
11月29日(木)～
開会は10時です



No.89
小川町議会だより
平成30年9月定例会秋号
(11月1日発行)

発行責任者：小川町議会議長 松本修三

編集：議会広報発行特別委員会

委員長 笠原規弘 副委員長 田中照子

委員 戸口 勝・井口亮一・高橋さゆり・島崎隆夫

編集後記

「one for all, all for one」好きな言葉の一つである。どんな組織においても必要なことではないだろうか。しかし、時には個がないがしろにされてしまうことが起きてしまう。組織の見直しや改善が必要な場合があるのも事実である。近年、また、今年も各地で震災や風水害が起きてしまっている。町は、発災時に重要な地域の組織づくりに力を注がなくてはいけない。今定例会では、平成29年度決算などを通じて防災への議論が進んだのではないだろうか。

(島崎隆夫)

GIKAI INFORMATION

Editors Note

